

3/27 建設優良事例表彰制度
優良事例として3社を表彰



市は今年度から、建設工事の優良事例を表彰する制度を開始しました。この制度は、市が発注した建設工事のうち、安全性や品質の向上に向けた創意工夫、社会貢献活動などを行った工事を「優良事例」として表彰するものです。今年度は、推薦があった工事6件のうち3件を優良事例とし、施工者である株式会社協栄土建（美々南通整備工事）、有限会社サノケン（5緑、中央都線舗装工事）、株式会社ヒロミ建設（避難用待機所設置工事）の3社を表彰。市役所に表彰式を執り行いました。市の小尾建設部長は、「市のインフラ施設の整備や維持に尽力いただいている建設業の皆さんに感謝するとともに、市としても建設業の魅力発信に努めたい」と話していました。

人々のうごき

《総人口》
96,503人（－645）
男性 48,993人（－431）
女性 47,510人（－214）
《世帯》52,098世帯（－136）
（ ）内は、前月との比較です。

4-1
現在

広報ちとせからのお知らせ

広報ちとせの発行日は毎月10日です。この日までに届かないときは、次の番号にご連絡ください。なお、町内会に加入しているしていないを問いません。

広報広聴課 広報係
☎(24)0104 FAX(22)8851

3/7 ペットボトルキャップ・リングプル回収運動
緑小学校の児童が奮闘



緑小学校の児童が、ペットボトルキャップとリングプルの回収運動を実施。回収した袋一杯のキャップとリングプルを千歳市社会福祉協議会に寄贈しました。この取り組みは、山田 心遥さんから緑小児童会のメンバーが全校児童に呼びかけたことから始まり、この日までに66.7kgのキャップ、20.9kgのリングプルが集まりました。キャップとリングプルはリサイクルされ、その還元金が千歳市社会福祉協議会の福祉活動費、車椅子や杖といった福祉用具購入費などに充てられます。1年生のときに活動を知り、「誰かの役に立ちたい」と思ったという山田さん。「この活動に向き合い、応援してくれた人たちがいたからこそここまでできた」と振り返りました。

山田心遥さん（当時）
緑小6年（当時）

手づくりの着陸場から
新千歳空港へ
開港100年の歴史を振り返る

百年物語
ちとせ空港
Vol.24 日本の空を取り戻す

戦後の航空事情
昭和20年8月、戦争は終わり、アメリカをはじめとする連合国軍が国内に進駐を開始しました。ここから対日講和条約が発効するまでの約7年間、日本は連合国軍の占領下に置かれることとなります。

終戦から間もなくの日本では、GHQが発出した航空禁止令によって、日本側の自主運航禁止、航空会社の解散はもとより、航空機に関する研究・実験・運用等の活動までもが一切禁止され、代わ

昭和26年ごろの千歳駅

乱立するという有様でした。一刻も早く、日本の空を日本人の手に取り戻したかった政府は、これらの法人を合流させ、外国に支配されない航空会社を設立することを画策します。こうして設立されたのが、日本航空株式会社でした。

営業のみで、航空機の運航はまだ認められていなかったため、アメリカのノースウエスト航空との間に運航委託契約を結び、運航実績に応じて同社に委託料を支払うという変則的な運航方式がとられました。



2/16 日本航空大学校・北海道校

今年も就職率100%（13年連続）を達成した日本航空大学校・北海道校。卒業式当日には毎年、各教室に力を入れた黒板アートが描かれます。卒業生213人が出席した式典では、梅澤理事長による激励の言葉ののち、全員が肩を組んで校歌を合唱。最後には、卒業生が一斉に帽子やスカーフを宙に投げ、フィナーレを飾りました。



3/12 北海道千歳
リハビリテーション大学



「学会で発表したり、後輩のプロジェクトを指導したり、技術とコミュニケーションの両面で貴重な経験ができた6年間でした。これからも、思いやりの心や人とのつながりを大切にできる社会人になりたいです」
大学院理工学研究科 理工学専攻 佐藤 駿さん



「社会に出たら、ここで学んだことを活かして活躍し、先生や家族に立派な姿を見せられるよう頑張りたいです！」
理学療法学専攻 山川 春樹さん



3/22 公立千歳
科学技術大学・大学院

公立千歳科学技術大学・大学院の学位記授与式は、北ガス文化ホールで開催。学部生238人と大学院生37人に学位記が授与されました。今年は初の試みとしてアカベラサークル「CISTone」が登壇し、卒業生とともに校歌を斉唱しました。

旅立ちの朝
J A A、千歳リハ大、科技大・大学院を卒業した
未来ある若者の姿をご紹介します